

「父母の現代史」は賀茂高等学校の社会科3年生「日本史」の授業における「夏休み課題」として、1970年代後半（1977年頃）から取り組まれてきました。提出は任意でしたが、生徒たちが家族から直接聞き取った貴重な証言集が多く集まり、毎年、社会科の教員及び生徒有志によって編集・発行されてきました。

戦争体験者及び被爆者の高齢化等にともない1990年代で課題は終了しましたが、次世代に伝えていくべき貴重な資料です。

